

設立趣旨書

1 趣旨

世界は今、環境の深刻な悪化、貧困や格差の増大など、世界全体において環境的かつ社会的問題を抱えています。

その中でも日本は、GDPで見れば世界でも有数の先進国であるにも関わらず、人々の幸福感は低く、社会課題は山積し、政治への不信感は増すばかりの状況です。

そのような中で市民は、それぞれ個別の社会課題に取り組んだり、政治に働きかけるために多種多様な市民団体を設立しています。

しかし、政治への働きかけには限界があり、必ずしも市民が思うような結果が出ているとは言えません。

それでも、私たちの社会をよりよいものにし、変化をもたらすためには、政治や行政に期待して選挙にいくだけでなく、私たち自身がいわゆる「草の根」の活動を行うことが必須であると私たちは考えます。

私たちは、市民一人一人が主権を取り戻し、政治と日常の暮らしを分断することなく、すべてがつながり合っていることを思い出し、自ら考え行動することを促します。

そして、反対運動にとどまることなく、何をどうすればよりよい未来につながるかを共に考え、言語化し、話し合います。

そうすることで、お互いの違いや価値観を認め合った上で、共生してゆける対話力を身につけ、対話をもってお互いの違いや価値観を超えて共生し、この世界や社会、環境を持続可能にし、お互いのいのちを存分に祝福し合えるつながりに変容させてゆく活動を行なってゆきます。

また、それぞれの市民団体が取り組む個々の社会課題は、一見関連のない分野の問題だったとしても、それぞれが密接に関係しており、社会課題解決のためには、それぞれが連携しながらより大きなインパクトをもたらすことを意識しなければなりません。

そのため、私たちの目的を実現するには、人材・時間・資金といった様々なリソースが必要になります。個人や団体の営利のためではなく、未来世代に向けた私たちの目的のために、人々がより広い範囲から集まり、多様なリソースを提供し合うあらゆる試みを実現させるべく、特定非営利活動法人グラスルーツを設立することにいたしました。

2 申請に至るまでの経過

私たちは、それぞれの個人が行う社会課題への草の根活動を応援しあい、支え合う形で、2010年頃より個々人が活動してきました。

私たちはこの活動をさらに広げ、よりよい社会が実現するまで持続可能なものにするため、また、人々がより広い範囲から集まり、多様なリソースを提供し合うべく、特定非営利活動法人グラスルーツを設立することに致しました。

【今までの活動実績】

- ・大阪市北区中津～中崎町界隈でのコミュニティ醸成活動、コミュニティスペース&カフェの運営、氏神神社での月イチマルシェの運営管理
- ・東日本大震災後のメンタルヘルスサポートのためのコミュニティカフェの運営(宮城県仙台市)
- ・持続可能な暮らし、パーマカルチャー、NVC=NonViolent Communication等のワークショップ(オンライン、リアル開催)
- ・福島原発被災地の人々から学ばせていただくためのスタディツアーの企画運営
- ・オンラインを利用した社会課題と個人の意識変容、日本と東アジア近隣国の近現代史にポイントを置いた対話の場づくり活動
- ・社会課題に対応するための教育プログラムを提供するNPO法人に対する活動支援(ファンドレイジングを含む)、広報・事務管理ほかバックオフィス支援業務、管理業務請負
- ・不登校児童への学習支援や居場所提供活動のサポート
- ・精神疾患患者自助会の事務局業務

2022年11月10日

特定非営利活動法人グラス・ルーツ

設立代表者 京都市右京区梅津大縄場町6番地6嵐山ロイヤルハイツ3号棟815号

氏名 河合 史恵